



## ネクタイの生産と消費

6月になり梅雨の季節になりましたが、日に日に夏の暑さが増しているように感じます。クールビズという言葉が使われるようになって久しくなりますが、道行くビジネスマンは半袖のシャツやポロシャツの姿で、ネクタイを締めていない方も増えてきました。今回は、ネクタイの生産や消費が近年どのように変化しているかをみてみたいと思います。

図1は、経済産業省が毎年行っている工業統計調査からみたネクタイの出荷本数です。平成17年や18年には全国で約500万本の出荷がありましたが、22年には300万本以下となっています。なお、京都府の出荷額は全国の中でも上位に位置しており、出荷本数は全国の約1割から3割弱を占めています。

では各世帯で年間何本くらい購入しているのでしょうか。図2は総務省が毎月行っている家計調査からみたネクタイの購入本数です。平成17年には100世帯当たり約30本の購入がありましたが、23年には20本となり年々少なくなっているのがわかります。

なお、京都市の購入本数は全国とは異なる動きがみられます。

6月の第3日曜日は父の日です。日頃の感謝を込めて、身近な男性にネクタイの贈り物をしてみるのもよいのではないのでしょうか。

